

< みずほ > の震災復興に向けた取組

新しい東北」官民連携推進協議会 運営委員会

2020.3.5

みずほ銀行 証券部

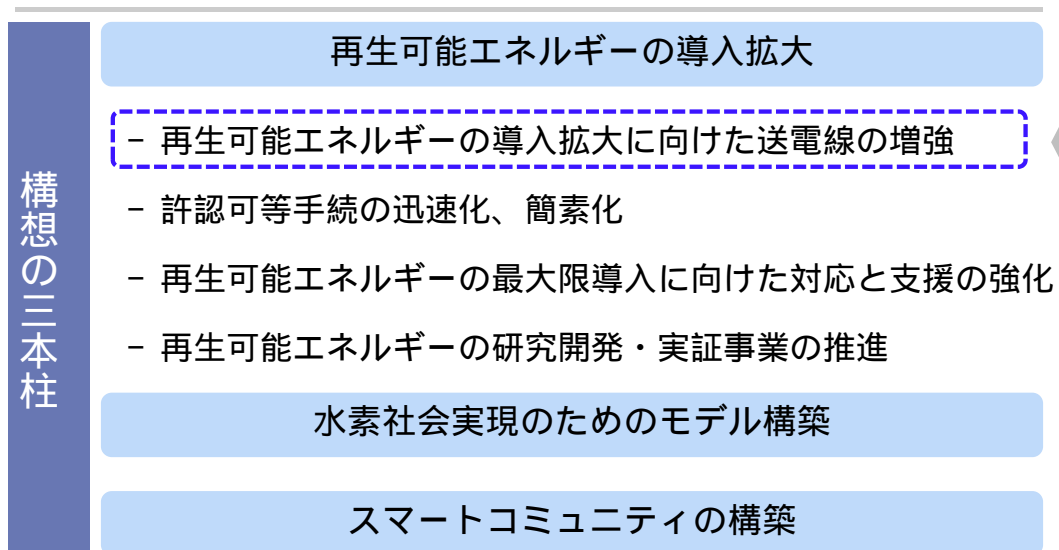


福島県内の再生可能エネルギー導入拡大に対する資金面からのサポート

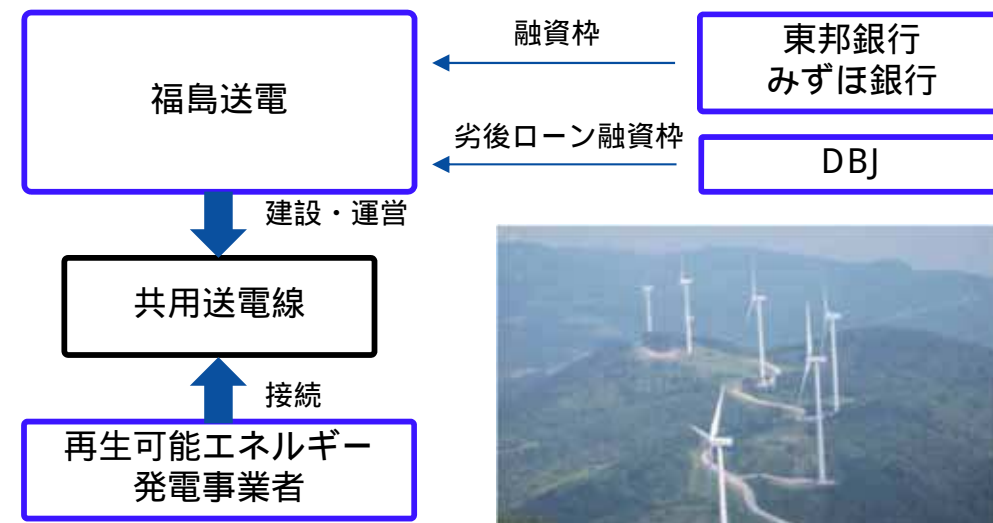
福島送電合同会社に対する融資枠の設定

- ✓ 株式会社東邦銀行、株式会社みずほ銀行は、2019年9月27日、福島送電合同会社（現 福島送電株式会社、代表社員：福島発電株式会社）に対し、送電線の建設等を目的とする融資枠を設定。
株式会社日本政策投資銀行も、劣後ローンによる融資枠を設定。
- 福島県は、再生可能エネルギーの導入拡大、水素社会実現のモデル構築、スマートコミュニティの構築の三本柱から構成される「福島新エネ社会構想」を推進し、エネルギー分野からの震災復興を後押し。
 - 「福島送電(合)」は、再生可能エネルギー発電事業者と一般送配電事業者との間を繋ぐ送電線の建設・運営を行う送電事業者。こうした福島送電の取り組みを資金面から支援すべく、機動的な資金調達を可能とする融資枠を東邦銀行、みずほ銀行及び日本政策投資銀行にて設定。

福島新エネ社会構想



スキーム図



（福島新エネ社会構想実現会議資料、東邦銀行・日本政策投資銀行・みずほ銀行リリースより作成）

(ご参考) 昨年度ご報告事例①

大船渡市での金融教育

- ✓ 岩手県大船渡市において、市内の中学生に職業について考える機会を提供する目的で毎年開催されているキャリア教育のイベントに、2012年度から継続して参加しています



キャリアメンタリングプログラムへの参加

- ✓ 東日本大震災で被害を受けた福島県の女子高校生が、将来のキャリアを前向きに考えることができるよう、社会で活躍する女性と接する機会を提供するプログラムに、2017年度より参加しています（みずほから3名の女子社員が参加）
- ✓ 主催はみずほが協賛しているTOMODACHIイニシアティブ（東日本大震災の復興支援から生まれ、教育・文化交流・リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダー育成を目指す米日カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップ）



(ご参考) 昨年度ご報告事例②

被災地間伐材の有効利用

- ✓ 新卒採用イベントにおいてオリジナル間伐材ノートを配布しました
- ✓ 宮城県南三陸町産の杉間伐材を使用し、製造・セット作業も南三陸町で行うことで、被災地復興と雇用促進を支援しています



陸前高田マラソン大会への協賛

- ✓ 2015年以降、東日本大震災で大きな被害のあった岩手県陸前高田市で開催されている「陸前高田応援マラソン」に協賛しています



花いっぱいキャンペーン

- ✓ 日本家庭園芸普及協会の実施する「グリーンアドバイザーによる花いっぱいキャンペーン」に協力し、被災地に花を贈る取組を2011年7月から継続しています



(みずほフィナンシャルグループHPより作成)

(ご参考) 昨年度ご報告事例③

気仙沼造船プロジェクト

- ✓ 宮城県気仙沼市の造船業界は、東日本大震災による津波で設備が損壊し、造船所集積地の敷地が地盤沈下する等、壊滅的な被害を受けた
- ✓ 弊行は新たな敷地に最新鋭の設備を備えた造船所を建設するために設立された新会社「みらい造船」に対し、地域金融機関と協調してシンジケートローンを組成

【プロジェクトイメージ図】



福島県との連携

- ✓ 2016年3月、福島県とみずほフィナンシャルグループは2020年に向けてさまざまな分野で連携して復興を進めることを目的に、連携協定を締結
- ✓ 日本が世界各国から多くの訪問客を迎える2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「ふくしまの魅力の発信」、「観光の振興」、「県産品の販路拡大」、「芸術文化・伝統芸能の発信」等に連携して取り組んでいる

【連携協定締結式】



(みずほフィナンシャルグループHPより作成)

(ご参考) 昨年度ご報告事例④

被災地産品販売会

- ✓ 原発事故による風評被害が続く被災地産品の販売促進と販路拡大、震災の記憶の風化防止などを目的に、みずほグループ各社の東京都内の拠点を中心に、被災地産品の販売会を継続的に開催
- ✓ 震災直後から開始した販売会の開催回数は、これまでに延べ70回を超え、毎回多くの社員が被災地産品を購入

【被災地産品販売会の様子】 【被災地メニュー提供】



<みずほ>の森プロジェクト

- ✓ 東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた福島県いわき市の海岸防災林の再生を目指し、福島県、いわき市、地域の住民と連携して「<みずほ>の森プロジェクト」に取り組んでいる
- ✓ 2013年以降、多くの社員がボランティアとして活動に参加し、これまで合計1.4ヘクタールの敷地に約1万4千本のクロマツの苗木を植樹

【2019年度の取組】

日時：7月27日
内容：下草刈り



参加者：約100名
BK三宅副頭取以下役職員
75名、自治体関係者、地域
住民等25名が参加

© 2019 株式会社みずほ銀行

本資料は金融ソリューションに関する情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の取引の勧誘・取次ぎ等を強制するものではありません。また、本資料はみずほフィナンシャルグループ各社との取引を前提とするものではありません。

本資料は、当行が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますよう、また必要な場合は、弁護士、会計士、税理士等に御相談のうえお取扱い下さいますようお願い申し上げます。

本資料の著作権は当行に属し、本資料の一部または全部を、①複製、写真複製、あるいはその他の如何なる手段において複製すること、②弊行の書面による許可なくして再配布することを禁じます。